

## 学生リーダー制度発足

戸田 香

京都女子大学ジェンダー教育研究所 助教

### <事業概要と目的>

「学生リーダー制度」（以下、「本制度」）は、当研究所の設立趣旨である「ジェンダーに関する諸課題の解決、特に社会における多様性の尊重とジェンダー平等の実現に寄与する」に賛同した学生有志らが自発的な活動を行うものである。令和6年度第6回ジェンダー教育研究所運営委員会（2023年12月26日開催）にて承認された。

「本制度」は、当研究所発足前から、数名の学生らが竹安栄子学長を囲んでジェンダー課題の勉強会やキャリアを考えるイベントを開催するなどの活動を継続的に進めていたことが背景にある。その後、研究所発足をきっかけに、自発的に当研究所の活動への参加を申し出たことが発端である。学生らは、本学のジェンダー教育の推進において、学生の視点から見た本学および社会の課題解決に向けて、2022年度に学長へ提案も進めていた。

こういった学生らの活動はさらに持続可能な形とした方がよいと考えられ、「大学の発展と、社会における多様性の尊重とジェンダー平等の実現に寄与する存在」として、当研究所の活動の一環と位置づけられ[2023年12月26日、運営委員会資料「学生リーダー設置趣意書」および「ジェンダー教育研究所学生委員<sup>1</sup>について」から]、「学生リーダー制度」として出された。

活動の主な目的は「本学の学生が、ジェンダー課題解決に向け社会の変革を推進する女性リーダーとなるきっかけと機会を提供する。最終的には、本学のさらなる発展と、社会における多様性の尊重とジェンダー平等の実現に寄与する」<sup>2</sup>とされた。

### <参加メンバー>

法学部、現代社会学部、発達教育学部、文学部、家政学部の2回生から4回生までの計24名で構成される（2024年12月末現在）。準備委員4名が学内で公募を行い、応募した学生が上記メンバーである。

<sup>1</sup> 「学生委員」という名称はのちに「学生リーダー」と改称された。

<sup>2</sup> 2023年12月26日、運営委員会資料「学生リーダー設置趣意書」等

### <2024 年度の主な活動>

「本制度」に伴う活動は、主に次の4つのプロジェクトで構成されている<sup>3</sup>。全て学生らが主体的に行い、教員は最低限のコミットしか行わないことが基本的な考え方である。尚、以下プロジェクトは全て学内の学部生を対象としたものである。

- ・プロジェクト① 「ジェンダー勉強会」
- ・プロジェクト② 「京女キャリアラボ ～正解も間違いもない、それぞれが前向きに考えられる人になる～」
- ・プロジェクト③ 「ランチミーティング」
- ・プロジェクト④ 「発信！京女 Spirits」

上記一連のプロジェクトは2024年7月、当研究所の学内公募型プロジェクト予算「令和6年度ジェンダー教育研究所『未来を創るプロジェクト』」に採択された（2024年7月5日開催の運営委員会で決定）。本件に係る費用は本プロジェクト予算から充当される（尚、上記プロジェクト予算以外から予算が充当されたフランス系IT企業との協業案件もある）。以下、「本制度」に基づき、2024年度に実施されたイベントや勉強会等を時系列で記載する。

#### ■2024/09/19 開催

「キャリアの羅針盤 ～京都女子大学×ダッソー・システムズ株式会社～私たちが拓く！自分らしいキャリア開発ワークショップ」

本学の学生がグローバルな視点でキャリアを考えるきっかけを得ることを目的とし、本学連携協定先であるフランス系IT企業「ダッソー・システムズ」の社員を招聘し、討論を行った。

#### ■2024/10/30 開催

「Enjoy！キャリアメイキング～女性の健康とキャリアについて話そう～」

株式会社ステルラ代表取締役西史織氏を招聘し、「キャリアと卵子凍結」や「起業」をテーマに議論した。また女性のヘルスケアに関連する課題をテクノロジーで解決する「フェムテック」の紹介や、女性の健康が社会といかに関わっているのかについても考えた。

#### ■2024/11/15 開催

ジェンダー勉強会「マイノリティが意思決定に参画できる社会をどうつくる？～大手アパレルメーカーのLGBTQ+への接客方針に関する言論を事例に～」

<sup>3</sup> 令和6年度「未来を創るプロジェクト」申請書から。

■2024/11/20 開催

「竹安学長を囲むランチミーティング テーマ：京女グランドビジョンとジェンダー教育の機会」

京都女子大学のグランドビジョンをテーマに、大学の現状や課題、将来像を学長と議論した。ジェンダー平等社会の実現に貢献できる女性の育成も論点となり、学生らは、自身の将来像について話し合った。

■2024/11/30 開催

「未来を創る！女子大交流サミット」

女子大学という共通のキーワードをもとにフェリス女学院大学の学生同士が女子大に通うことで得られる共感や学びを共有し、学生同士の交流を深め、お互いの視点から女子大が持つチカラを再発見することを目指した。フェリス側からは教員2名と学生5名が本学を訪れ、議論に参加した。

■2024/12/18 開催

ジェンダー勉強会「わたしたちのセクシュアル・リプロダクティブヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）について考えよう！」

中山まき子特定教授のレクチャーとともに、セクシュアル・リプロダクティブヘルス&ライツ（SRHR）が国際的な合意に至るまでの過程を学んだ。

■2025/01/15 開催

「竹安学長を囲むランチミーティング テーマ：京都女子大学は何のために在るのか」

京都女子大学の存在意義とそこで何を学ぶかをテーマに、リカレント生も交えて女子大学の価値を確認した。

■2025/01/29 開催

「京女から始めるジェンダー再考～社会を動かす私たちの力とは？～」

イギリスの女性参政権運動を描いた映画「未来を花束にして」の上映会と『「イクメン」を疑え！』の著者であるフェリス女学院大学関口洋平准教授の講演という二部構成で開催した。女性の権利獲得の歴史を改めて学び、流行語にもなった「イクメン」という言葉に潜む違和感や畏について議論した。

※上記以外に、竹安学長や手嶋所長へのインタビューも行っており、動画やフライヤーでの発信のための準備を進めている。

実施されたプロジェクトはいずれも参加者の満足度が高く<sup>4</sup>、「本制度」の当初目標を達成している。

<今後の予定>

立ち上げメンバーでこれまでの活動の主軸となっていた4回生らが2025年春卒業するため、「本制度」に基づく活動は現3回生（2025年度は4回生）に引き継がれる。活動がより発展的なものとなることが期待される。

---

<sup>4</sup> 事後アンケートの回答から。